

視察船「新東京丸」で東京港を見学（2018/11/9）

by T.I.

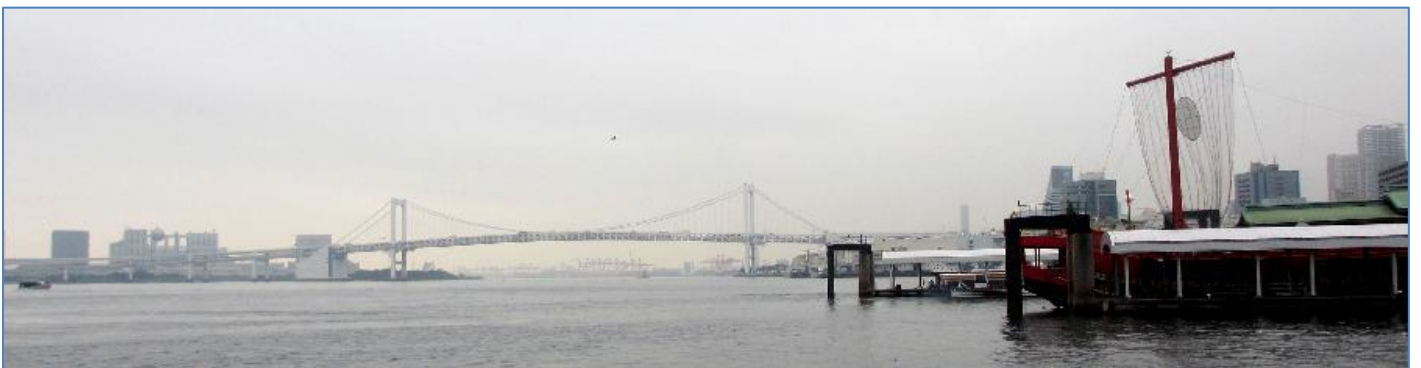
人気の高い視察船「新東京丸」での東京港の見学（運行時間 1.5 時間：無料）を 2 か月前の 9 月に 9-1 会（第 9 期 1 班）活動として予約しました。今日（2018/11/9）がその実行日です。朝からのあいにくの小雨ですが、悪天候になれば運行の中止やコースの変更をしないとのことで、平穩無事を祈りつつ家を出る。

西武線池袋駅に 6 名が 10 時過ぎに集合し、JR 山手線に乗り換えて浜松町駅に向かう。浜松町駅では、先ず、予め調べていた 11 時開店のレストラン（駅の西隣にある世界貿易センタービルの地下 1 F）に行く。最初の客となり、個室に導かれて早めの昼食を注文。久しぶりの集いでおしゃべり交え、ゆったりと楽しむ。そろそろ次に向かおうと個室を出るとスタッフが忙しく動いており、レジ近くに来ると丁度昼時の待ち列を目にすることに。“ゆったり”を受け入れてくれたお店に感謝し、待たせたお客に「ごめんね」と……。

次の行き先は、集合場所「竹芝小型船ターミナル」です。そこは、山手線や東海道線などの幅広い線路群に対して世界貿易センタービルとは反対側にあり、視察船「新東京丸」の案内パンフには駅からそこまで徒歩約 15 分とありました。しかし、パンフの案内地図が平面表示であるのに対し、実際は地下や 2 階もある 3 次元迷路です。しかも、現在は、世界貿易センタービルの建て替えを含めて複数の大規模な再開発プロジェクトが、進行中。しかし、大きな駅街には案内デスク（インフォメーション）があり有り難い。2 度ほど右往左往を経た後、方向感覚の優れた I.I.嬢らが先頭となり、5 人が後に続く。集合時間の 13 時 15 分には、ゆとりをもって到着しました。



竹芝小型船ターミナル
（帰航時に撮影）



「竹芝小型船ターミナル」からの景色：前方にレンボブリッジ、ブリッジ左端の奥にフジテレビの球状展望室が見えている。右端は竹芝の南隣の「日の出ふ頭」。

「新東京丸(全長 31.89m、197 トン)」での利用人数は最大 60 人(予約要)です。今日のこの便では、私たちのような小グループ3つが 13 時 15 分からの受付を行い、少し遅れて 30~40 人の大グループが到着しました。13 時 30 分、受付順に乗船開始。船内は、会議室のような大きな楕円テーブルに、ふかふかの椅子がぐるりと。左右の窓際には、小机と椅子が固定されたセットがずらりと並べられています。「運行コースは東京湾の左周りなので右側の窓際席がお勧め」との S.A.嬢の事前アドバイスに従い、全員が窓際に着席する。“視察船”なので、外に出たりするようなクルーズ目的のデッキなどはありません。

出港すると、さっそく係員の方から説明が始まります。堅苦しくなく、とにかく運航の 1.5 時間ずーっと案内してくれるので飽きません！



竹芝小型船ターミナル：巡視船「新東京丸」



船内の前方



後方：説明員から途切れの無い案内があり



新東京丸視察コース：【水～金曜日】竹芝発～竹芝着 1.5 時間

(<http://www.kouwan.metro.tokyo.jp/yakuwari/ship/shisatsusen/course.html>)



出航して直ぐ右手に見える日の出頭(東京湾で一番古い)の倉庫群、その後ろにあって写真を左右に横切っている青い(一部赤い)高路は新交通臨海線ゆりかもめ



竹芝、日の出、芝浦ふ頭を通り、レインボーブリッジをくぐる(最近の大型客船はくぐれません)



赤い船は南極観測船「しらせ」
(翌日 11/10 に南極に向けて出港した)
白い建物は大井食品「冷凍倉庫」



文字「F」が点滅する信号所

【F：入出航可、I：入航可(出航禁止)、O：出航可(入航禁止)、X：入出航禁止】



遠くのかすんだとがった山は 30 分毎に噴火する火山（東京ディズニーシー）
（天気が良ければ赤い炎が見えるとのこと）



東京国際空港（羽田空港）を右先遠くに見た後、廃棄物処分場を左周して東京
ゲートブリッジをくぐる



フェリーふ頭に接岸しているフェリー「びざん（徳島）（全長 191m）」
（東京ー徳島ー北九州を結んでいる）



青海コンテナ埠頭のコンテナ船とガントリークレーン（gantry crane）
 参考：ガントリー（gantry）とは、複数の高脚の上部に水平な梁を備えた門型の構造物を指す単語



麒麟にみえるガントリークレーン



左の高層ビルはお台場にあるフジテレビでトップに球状展望室の一部が見える。右の白い建物は「船の科学館」で赤い展望塔が見える。



台場にある海上保安庁（Japan Coast Guard）大型測量船専用岸壁に接岸中の船舶、右後ろにヒルトンやフジテレビの球状展望室が映っている。



レインボブリッジをくぐりぬけて、豊洲新市場、晴海ふ頭、月島ふ頭、そして竹芝ふ頭に戻る。橋げた間にフジテレビの球状展望室が見えている。



三角屋根ビルは晴海客船ターミナル（晴海ふ頭）



水産庁漁業取締船（Fisheries Inspection）（晴海ふ頭）



航行中の水上バス（エメラルダス）



東京海洋大学 海鷹丸（晴海ふ頭の南東隣の豊海ふ頭）



竹芝ふ頭から東京湾を周遊する大型レストラン船ヴァンテアン（vingt et un）



1 時間半の運航を終え竹芝小型船ターミナル「新東京丸のりば」に戻ってきた



竹芝の南隣の日の出頭からクルーズ船（御座船安宅丸）が離岸

ここでは写真で紹介できませんでしたが、ケーソン（caisson；岸壁や防波堤で使う上側が空いた函状構造物）を製作するフローティング（浮き）ドック、2020年オリンピック・パラリンピックの競技場や選手村、新豊洲市場、入港する船舶の検疫錨地など、たくさんの紹介がありました。

天候には恵まれませんでした、東京湾を大いに勉強（視察）した 9-1 会活動の一日になりました。頭がパンクしませんように！！